

| | | | | | | | |
|--------------|---|----|----|------|---|------|----|
| 授業科目 | 教職概論 | | | | 実務家教員担当科目 | - | |
| 単位 | 2. | 履修 | 選択 | 開講年次 | 2 | 開講時期 | 前期 |
| 担当教員 | 木村 政伸 | | | | | | |
| 授業概要 | <p>教職のあり方について、その歴史的経緯、倫理・資質、法的位置づけ、求められる職務内容（チーム学校への対応を含む）、危機管理意識などを概観する。</p> <p>授業では、反転授業、ディスカッション（討論）、グループワーク、学生による発表（演習）などを行う。</p> | | | | | | |
| 授業形態 | 講義・グループワーク | | | 授業方法 | 反転授業、ディスカッション（討論）、グループワーク、学生による発表（演習） Classroomを通じて、事前学習を行う。 | | |
| 学生が達成すべき行動目標 | | | | | | | |
| 標準的レベル | <ul style="list-style-type: none"> ・ 公教育の目的とその担い手である教員の存在意義を理解している。 ・ 進路選択に向け、他の職業との比較を通して、教職の職業的特徴を理解している。 ・ 教職観の変遷を踏まえ、今日の教員に求められる役割を理解している。 ・ 今日の教員に求められる基礎的な資質能力を理解している。 ・ 教師として必要な倫理について理解している。 ・ 幼児、児童及び生徒への指導及び指導以外の校務を含めた教員の庶務の全体像を理解している ・ 教員研修の意義及び制度上の位置づけ並びに専門職として適切に職務を遂行するため生涯にわたって学び続けることの必要性を理解している。 ・ 教員に課せられる服務上・身分上の義務及び身分保障を理解している。 ・ 校内の教職員や多様な専門性を持つ人材と効果的に連携・分担し、チームとして組織的に諸課題に対応することの重要性を理解している。 ・ 幼児、児童及び生徒を取り囲む社会環境を理解し、教師として取り組む姿勢を理解している。 ・ あらゆる場面、状況において教師に必要な危機管理能力について理解している。 | | | | | | |
| 理想的レベル | <ul style="list-style-type: none"> ・ 公教育の目的とその担い手である教員の存在意義を理解している。 ・ 進路選択に向け、他の職業との比較を通して、教職の職業的特徴を理解している。 ・ 教職観の変遷を踏まえ、今日の教員に求められる役割を理解している。 ・ 今日の教員に求められる基礎的な資質能力を理解している。 ・ 教師として必要な倫理について理解している。 ・ 教員に課せられる服務上・身分上の義務及び身分保障を理解している。 ・ 校内の教職員や多様な専門性を持つ人材と効果的に連携・分担し、チームとして組織的に諸課題に対応することの重要性を理解している。 | | | | | | |

- ・教員研修の意義及び制度上の位置づけ並びに専門職として適切に職務を遂行するため生涯にわたって学び続けることの必要性を理解している。
- ・教員に課せられる服務上・身分上の義務及び身分保障を理解している。
- ・校内の教職員や多様な専門性を持つ人材と効果的に連携・分担し、チームとして組織的に諸課題に対応することの重要性を理解している。
- ・幼児、児童及び生徒を取り囲む社会環境を理解し、教師として取り組む姿勢を理解している。
- ・あらゆる場面、状況において教師に必要な危機管理能力について理解している。

評価方法・評価割合

| 評価方法 | 評価割合（数値） | 備考 |
|------------------|----------|----|
| 試験 | | |
| 小テスト | 80% | |
| レポート | | |
| 発表（口頭、プレゼンテーション） | | |
| レポート外の提出物 | 20% | |
| その他 | | |

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

| | | | | | | | | | | | |
|-----|---|-----|---|-----|---|-----|---|-----|---|--------|----------|
| DP1 | ○ | DP2 | - | DP3 | - | DP4 | - | DP5 | - | ナンバリング | NT24101J |
|-----|---|-----|---|-----|---|-----|---|-----|---|--------|----------|

学習課題（予習・復習）

1回の学習目安
(時間)

配付資料及び講義ノートを復習する

4

授業計画

| | |
|------|------------------------|
| 第1回 | 教師に必要なもの—授業を構想してみる— |
| 第2回 | 体験した教師を振り返る |
| 第3回 | 教師の服務—教師をめぐる法制— |
| 第4回 | 教師の服務—研修と採用 (小テスト) |
| 第5回 | 教員養成の歴史—戦前の教員養成制度— |
| 第6回 | 教員養成の歴史—戦後の教員養成制度 |
| 第7回 | 女性教師と養護教諭の歴史 (小テスト) |
| 第8回 | 教師の仕事（1）命の授業 |
| 第9回 | 教師の仕事（2）夜間中学の教師 |
| 第10回 | 教師の仕事（3）院内学級の教師 |
| 第11回 | 教師の仕事（4）不登校対応専任教員 |
| 第12回 | 教師の仕事（5）栄養教諭・司書教諭 |
| 第13回 | チーム学校—スクールソーシャルワーカー |
| 第14回 | チーム学校—課外活動の地域・外部指導者 |
| 第15回 | 最近の教員の労働をめぐる社会状況 |

| | |
|-----------------------------------|---|
| | (小テスト) |
| テキスト | 特に使用しない |
| 参考図書・教材 ／データベース・ 雑誌等の 紹介 | 参考書・参考資料等 中央教育審議会「教職生活の全体を通じた教員の資質能力の総合的な向上方策について(答申)」 中央教育審議会「チームとしての学校の在り方と今後の改善方策について(答申)」 それ以外の参考文献は、最初の授業で印刷して配布する。 |
| 課題に対するフィードバックの方法 | 小テストは、採点后授業の中で解答例を示しながら解説する。 |
| 学生へのメッセージ・コメント | 教職に対する興味・関心・意欲があること 新聞をはじめとする各種メディアから教職に関する情報を常々集めておくこと。 |